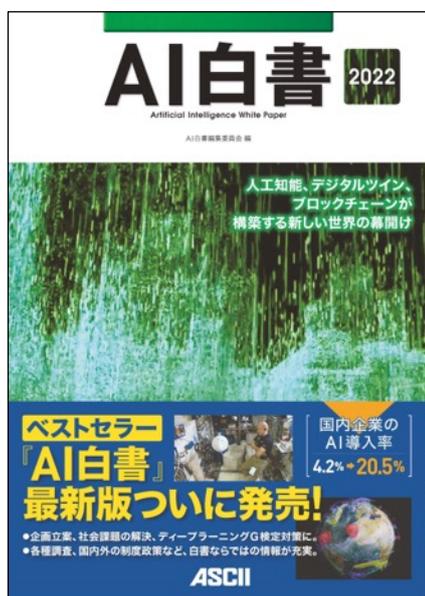


AIのすべてがわかるベストセラー最新版『AI白書 2022』発刊 技術から制度政策まで、国内外の最新動向を徹底解説！

社会実装が進むAIの現状と展望を幅広い視点で解説
人工知能とデジタルツイン、ブロックチェーンが構築する新世界

株式会社角川アスキー総合研究所（本社：東京都文京区、代表取締役社長：加瀬典子）は、人工知能の最新動向を解説する『AI白書 2022』を2022年4月28日（木）に発売します。

本書は、人工知能の技術から制度政策に至るまで、世界の最新動向を紹介する『AI白書』シリーズの最新版です。



AI白書 2022

編集：AI白書編集委員会

定価：4,840円（税込）

サイズ：A4判 496ページ

ISBN：978-4-04-911090-6

発行：株式会社角川アスキー総合研究所

発売：株式会社KADOKAWA

<https://www.kadokawa.co.jp/product/322108000572/>

■AI白書 2022 概要

世界的に人工知能の社会実装が進み、国内企業の導入率も4.2%から20.5%に拡大しています。さらにデジタルツイン、ブロックチェーン、ロボティクスなどの新たな技術との組み合わせにより、「メタバース」を始めとするさまざまな形でその活用範囲を広げています。

本書は、基礎的な技術解説や国内外の導入事例、制度や政策面での取り組みに加え、企業経営者の意識調査など幅広い視点でAIを解説します。業務効率化やイノベーションの創出、さらには気候変動、労働人口の減少、インフラの老朽化への取り組みなど、企業がAIを導入していく上で実践的に活用できる内容になっています。

■AIの現状と今後の展望を解説

- ・ 企画立案や実装に役立つ、最新技術を組み合わせた市場動向と事例
- ・ 企業が知っておくべき国内外の2021年AI戦略事例
- ・ AI導入に不可欠な、各種調査によるさまざまなデータ紹介
- ・ G検定対策にも有用な、AIに関する技術、原則、ガイドラインを解説
- ・ 産業別の利用動向や、国内外の制度政策など多面的に解説

目次

第1章「2022年のAIと課題解決」

AI トピックス／座談会：五十嵐歩美（国立情報学研究所助教）、成田悠輔（イェール大学助教授／株式会社半熟仮想代表）、中島秀之（AI 白書編集委員長、札幌市立大学学長）／インタビュー：川人光男（AI 白書編集委員、ATR 脳情報通信総合研究所所長・ATR フェロー）、三宅陽一郎（AI 白書編集委員、立教大学大学院人工知能科学研究科特任教授）

第2章「技術動向」

今利用されているAI技術／ディープラーニング／知的活動を実現する技術（知覚・認識・理解・意図、学習、身体性、認知発達、意識、言語、知識、判断、創作）／自然言語処理／開発基盤／標準化・オープンプラットフォーム・信頼性

第3章「利用動向」

国内・海外における利用動向（製造業、自動車産業、インフラ、農業水産業、健康・医療・介護、防犯・防災、環境・エネルギー、教育、金融業、物流、流通・小売業、行政、エンターテインメント、スポーツ、スマートシティ、その他〔自動翻訳、サイバーセキュリティ、スマートライフ、バーチャルキャラクター〕）／取り組み事例（NVIDIA、ウミトロン、JX 通信社、atama plus、メルペイ、ヤマト運輸、さくらインターネット）

第4章「制度政策動向」

AIに関する原則・ガイドライン等／制度改革（国内：モビリティ、データの管理・流通、知的財産）／国内の政策動向（AI戦略2021、基盤省庁・出口省庁の方針と動向、予算の動向など）／海外の政策動向（米国、EU、英国、ドイツ、フランス、中国）

第5章「DX、AI、人材」

DX／人材育成／AIの今後の展望

編集委員による、AI実装における課題、メタバース、DXなどの重要トピックコラム、NEDO「人工知能（AI）技術分野における大局的な研究開発のアクションプラン」



AI 白書編集委員会

委員長：中島秀之 [札幌市立大学学長]

委員長代理：浅田 稔 [大阪国際工科専門職大学副学長、大阪大学特任教授・名誉教授]

委員：岡田陽介 [株式会社 ABEJA 代表取締役 CEO 兼創業者、一般社団法人日本ディープラーニング協会理事]、川人光男 [国際電気通信基礎技術研究所 (ATR) 脳情報通信総合研究所所長・ATR フェロ
ー、株式会 XNef CEO]、松尾 豊 [東京大学大学院工学系研究科 人工物工学研究センター／技術経営戦
略学専攻教授]、三宅陽一郎 [立教大学大学院人工知能科学研究科特任教授]

■株式会社角川アスキー総合研究所について

角川アスキー総合研究所は、KADOKAWA グループのメディア総合研究所です。コンテンツ力、メディア力、リサーチ力に関する技術力を活かし、すべてのお客様に貢献すべく、課題となる重要テーマに日々取り組んでいます。

公式サイト：<https://www.lab-kadokawa.com/>

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ】

角川アスキー総合研究所 サポート事務局

070-1529-7134

yo-hori@lab-kadokawa.com